

川口地区発表

法政大学 関司ゼミ3年

●川口地区を歩いてみて



○川口事務所



○OJA



●川口地区を歩いてみて



○田舎まんじゅう



○法蓮寺

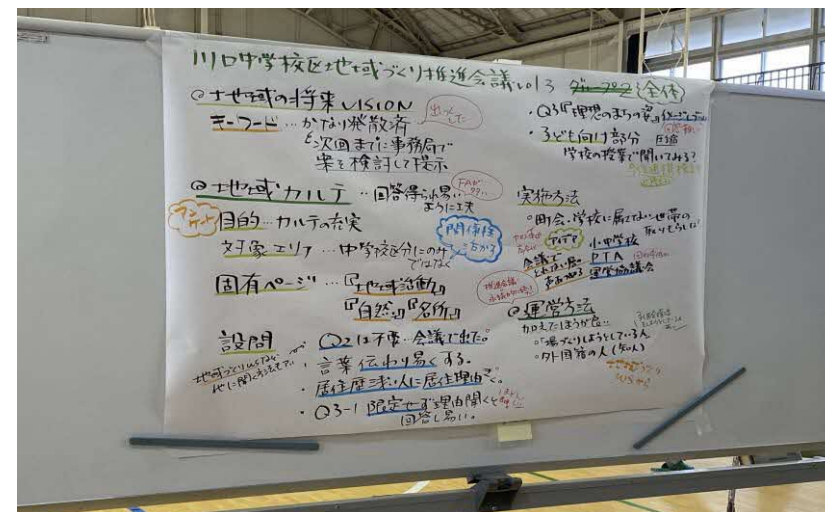
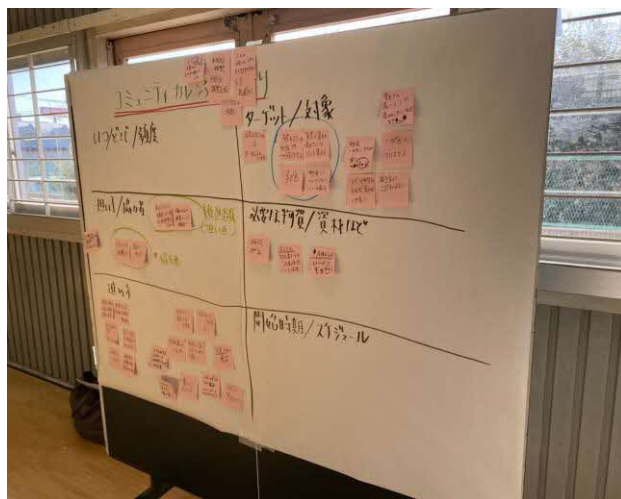


○ふあむ



●推進会議に参加して

参加者の多さや熱量に圧倒されました。私たちの地元では推進会議のような地域の未来について議論を行う場はないため、インターネットや歩いただけではわからない地域の課題や魅力について学ぶことができました！



●地域活性化のためには...

農業に着目！



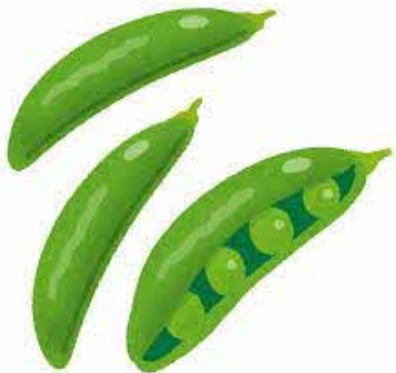
●一案として

川口エンドウ



川口エンドウとは・・・江戸東京野菜の1つ。

東京都八王子市川口地区(旧南多摩群川口村)で作られていた絹さやエンドウ



・江戸東京野菜に登録され、希少価値が高い

・現在は、小規模での栽培

・小学校では栽培～収穫まで体験学習が行われている

宗兵衛裸麦という種類の麦の栽培も開始



川口地区にはPRすべき農作物が多くあるのでは！

●しかし...

川口エンドウの周知はまだまだである

栽培に関しても手間がかかるうえに規格外品が多い
その数は生産数のおよそ半数ほど



農業者の方への収益の確保が難しく、継承が困難

●私たちの提案

①滝山の道の駅で川口の野菜を販売



SNSで宣伝・集客

- ・SNSを活用して、道の駅で野菜を販売することを宣伝し集客に繋げ、川口の野菜を知ってもらう。
- ・POPにQRコードをつけ、Instagram等SNSで育てる工程や生産者の顔を載せる。

②ワンコインランチを導入

- ・川口の野菜をアピールするためにもまず地域の方々が川口で収穫した野菜を知る事が必要。
- ・衛生面等を考えると現実的ではないかもしれないが、ワンコインランチを導入することで、地域のコミュニティづくりの場にもなり川口の野菜の周知に繋がられるのでは！

川口農業の発展につなげる！

●私たちの提案

③マルシェの活用

- ・マルシェを川口の野菜の周知としてだけでなく、②で提案した“ワンコインランチ”を知ってもらうきっかけの場とする。
- ・地域に対する住民の意見を汲み取るために、目安箱を設置し、箱にはQRコードを貼ってアクセスしてもらうことで、地域の現状把握や課題解決へとつなげる。

地域住民が暮らしやすい街を実現！

ご清聴ありがとうございました！